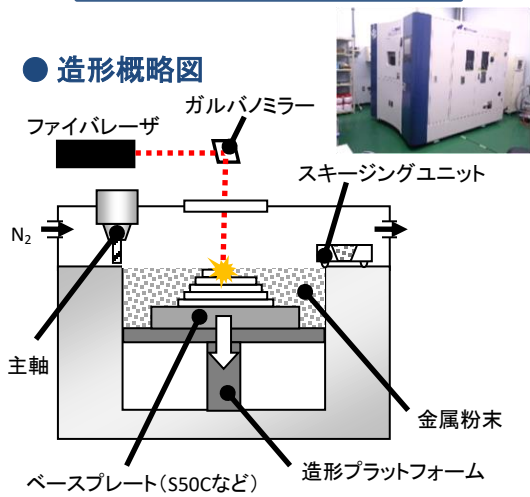
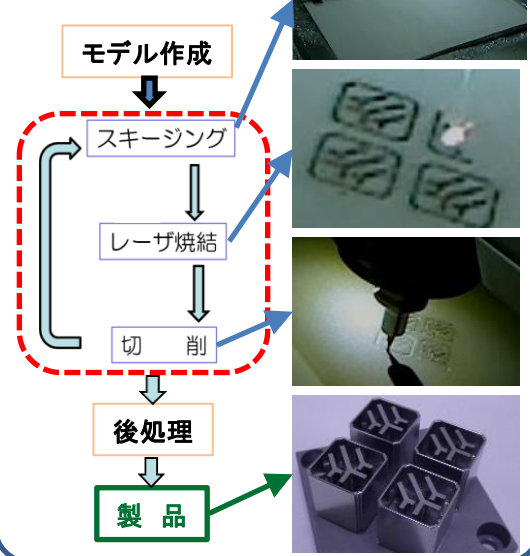


背景・目的

金属3Dプリンタの仕組み



造形の流れ



金属3Dプリンタの特徴

・切削加工や放電加工などの従来工法では実現不可能な複雑形状や内部に空洞を有する製品の作製が可能



高付加価値製品の造形実現での課題

- ①形状に依存する造形不良
- ②造形間切削における加工不良
- ③後処理(表面改質)等々

県内企業から要望がある

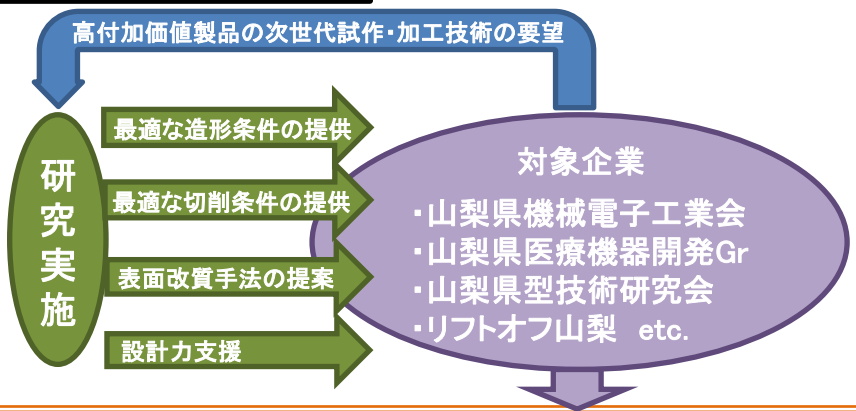
- ・射出成形やダイカストなどの金型
 - ・医療機器関連
 - ・航空機関連
- への適用が可能となる

研究内容

【目的】
高精度・高品質な生産手法の実現

- ①造形物形状ごとの造形条件の最適化 (R2~4)
- ②造形環境下における切削性の向上 (R2~4)
- ③電子ビーム加工による造形物の高機能化 (R2~4)

期待される効果



高付加価値製品の創出(ODM型企业への変革)医療、金型、自動車、航空機分野等での活用促進